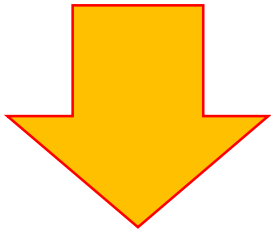


ペットボトルの飲み残しにご注意を！！

ちょっと飲んで、ふたをして、また飲んで、また閉めてと便利なペットボトルですが注意が必要です。



口を直接つけて飲んだペットボトルは、口の中の菌が付着したり中に入ったりします。時間がたつとペットボトルの中でその菌が増えて不衛生になります。また、何日も放っておいたボトルは破裂することもあります。



どうして菌が増えるの？

口から直接ペットボトルを飲むことが多いと思いますが、その際、口に残っているいろいろな菌がペットボトルへ移り入り込みます。そして飲み物の栄養を利用してどんどん増えていきます。

特に高い温度を好む菌にとっては、気温が高い日に蓋をしたままのボトルの中は最高の環境になります。もちろんすぐに何かの病気にかかったり、すべての菌が増えていくわけではありませんが、注意が必要です。

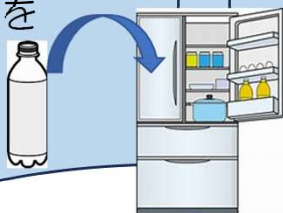
便利なペットボトル飲料です。上手に飲むよう心がけましょう。

<注意すべきポイント>

1) 開けたら早めに飲み切ろう！

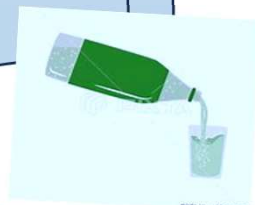
開栓したらできるだけ早く飲み切るようにしましょう。

飲み残す場合はボトルの口はペーパーでふき取った後、蓋をきっちりフタをしめて冷蔵庫に入れて保管し、早めに飲み切りましょう。



2) コップに注いで飲みましょう！

外出時は無理かもしれませんが、家ではボトルから直接飲まないで、コップに注いでから飲みましょう。



3) 部屋や車の中に置き忘れない！

暑い部屋や温度が上がる車中では、飲み残しを長時間放置しないようにしましょう。

